

# 外眼筋麻痺

## 【外眼筋麻痺とは...】

眼球には6つの筋肉がついていて、これらの筋肉の伸び縮みによって眼球はいろいろな方向に動きますが、外眼筋麻痺はこの眼筋を支配している神経や筋肉そのものが麻痺する病気です。麻痺した方の眼球は正常には動きませんから、両方の目で物をみると二重に見えます。この場合、片方の目を隠すと物は一つに見えます。

## 【原因は？】

眼筋を支配している神経は脳の中樞から出て、脳内を通過して眼筋までいっていますがこの間のどこかで障害が起こったのです。神経麻痺の主な原因には、次の5つがあります。

- ①神経をやしなっている血管が悪くなった場合。
- ②神経に炎症が起こった場合。
- ③腫瘍ができて神経が圧迫された場合。
- ④糖尿病などがあって神経に変調をきたした場合。
- ⑤外傷による場合。

## 【治療と経過】

- ①は神経をやしなっている血管がつまったり、破れた場合です。一種の脳出血ですから、回復する見込みはほとんどありません。
- ②の炎症は神経が腫れたり充血したケースですが、これは大部分が回復します。原因がアレルギーと考えられますので治療は主として副腎皮質ホルモンで行います。
- ③の腫瘍は摘出できるか、どんな種類のものかなどによって経過が違ってきます。
- ④の全身状態の変調による場合は、主として糖尿病のケースですが、これは全身状態が良くなれば、たいていの場合回復します。
- ⑤は、外傷の程度や範囲によって経過が大きく変わってきます。

眼筋麻痺の原因はいろいろな検査を行っても分からないことがあります。一般には、眼筋麻痺の程度が半年以上変化しなければ症状が固定したと考え可能な場合には斜視の手術を行います。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



752-8818